

# JAXA男女共同参画推進室

## ◆ 男女共同参画推進室って？

JAXAは、2013年10月に男女共同参画推進室を設置しました。

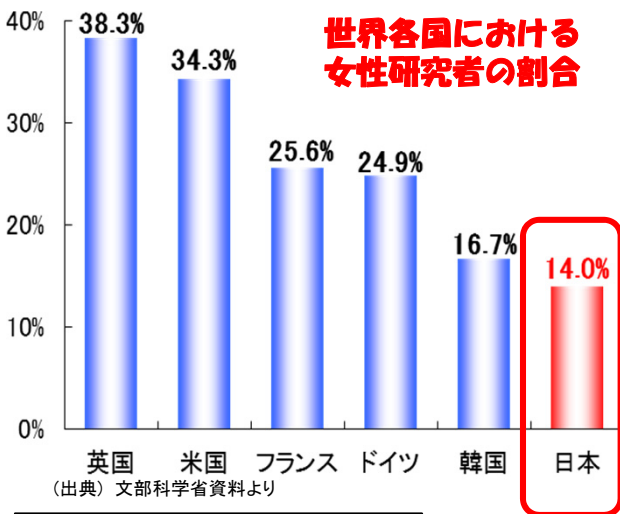
男女ともに尊重し合い、能力を十分に発揮できる環境を構築し、宇宙航空分野の活力を一層高めます。

次世代キャリア支援として、中高生・大学生・大学院生を対象に、セミナー、カフェなどの交流イベントを通して、女子学生の理工系キャリアへのチャレンジを支援します。

## ◆ 女性研究者をめぐる現状

日本は、第3期科学技術基本計画より女性研究者の採用に関する数値目標を掲げ、その登用及び活躍促進を進めており、女性研究者は年々増加傾向にあります。しかし、その諸外国と比較すると割合が少ないです。

女性研究者の研究と出産・育児等との両立が困難であること、研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足していること等が課題です。



## ◆ 室長から一言

JAXA男女共同参画推進室 室長・杉田 尚子

JAXAは文部科学省が推進する「女性研究者研究活動支援事業」に2013年10月より参加、男女共同参画推進室を設置して、子育てや介護の支援のための環境整備、個々人の能力発揮を目指した研究開発力・マネジメント力・外部資金獲得力の向上のためのサポートを行ってきました。

今回の企画では、女性研究者は勿論のこと、男女共同参画で志を同じくする男性研究者も登壇します。女性も男性も専門能力を蓄えながら社会に貢献し、充実した人生を送ることができるよう模索しています。その姿を通じて、会場の皆様と、宇宙航空分野の夢を共有したいと考えています。

## ◆ どんな取り組みをしているの？

JAXAの事業所は、業種・目的別に全国に広く展開し、体制・働き方・職務が多様です。このため、ニーズ調査結果に基づき、具体的な活動として、以下の取り組みを推進しています。

### ①安心して出産・子育て・介護を行える環境の整備

☆子育て・介護により研究活動が途絶えることのないよう研究支援員を配置しています。

☆病児・病後児保育支援制度を試行し、子育てと就労の両立を支援をしています。

### ②働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現

☆職員にアンケート調査を実施し、働きやすい職場にするための制度改正に向けて取り組んでいます。

### ③研究者の研究開発力・組織マネジメント力の向上と能力発揮

☆自分自身の仕事やキャリアについて、適切な助言を与えるJAXA内外の「メンター制」導入に向けて取り組んでいます。

☆研究開発力・マネジメント力向上のため、研究資金獲得のセミナーの開催及び添削支援を行っています。

### ④女性研究者の採用・登用を拡大、意識啓発

☆数値目標に向けて意思決定過程へ参画し、計画的に取り組んでいます。

☆意識啓発セミナーを開催します。

### ⑤女性ロールモデルの見える化と女子学生・院生との交流機会の拡大

☆女子学生向けのイベントの開催、進路やキャリア形成の相談をうけています。

☆ロールモデル集にてJAXA女性研究者の紹介をしています。  
[http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/carrier/pdf/womenjaxa\\_2014.pdf](http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/carrier/pdf/womenjaxa_2014.pdf)

### ⑥内外連携の推進、相互協力ネットワークの形成

☆JAXA内外の情報共有をはかり、協力体制を築いています。



2014.9.11「女性が拓く宇宙航空の夢と未来」

## ◆ もっと詳しく知りたい人のために

<http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/index.html>

(1-8) 理工系職員が語る私の仕事

## ミニ講演

## 「理工系職員が語る私の仕事と生活」

～理工系職員が自身の仕事・生活・キャリアについて語ります～  
進路選択・職業選択の参考にしてください

日時: 7/24(金)・7/25(土) 12:00-13:50

## 7/24(金)登壇者紹介

## ①12:00-12:15 JAXA男女共同参画推進室長 杉田尚子(すぎた なおこ)

1995年NASDA入社、国際契約、国際宇宙ステーション・地球観測の国際調整業務等に従事。米国での長期派遣研修、文部科学省を経て、日本の宇宙政策史の研究で博士号を取得。現在は、国外の宇宙動向の調査分析業務と共に、男女共同参画を推進。



## ②12:15-12:40 青山学院大学理工学部准教授 馬場 彩(ばんば あや)

博士課程修了後、理化学研究所基礎科学特別研究員、日本学術振興会特別研究員、アイルランド・ダブリン高等研究所シュレディンガーフェローを経て2011年より現職。X線天文衛星の開発・運用・データ解析に携わる。



## ③12:50-13:15 ISAS熱・流体グループ 岩田 直子(いわた なおこ)

修士課程修了後、2007年JAXA就職。衛星の熱設計、熱制御材の研究開発に携わる。



## ④13:25-13:50 JAXA調査国際部 小野田 勝美(おのだ まさみ)

1995年NASDA入社、計画管理部、ウィーン国連宇宙部派遣、地球観測推進部を経て2003年退職。JAXA非常勤として小型衛星技術移転に関わる傍ら、博士号取得、2009年よりジュネーブ地球観測政府間会合(GEO)事務局科学技術官として地球観測システム構築の国際調整に携わる。2012年4月JAXAに復職し、航空プログラム事業推進部を経て2012年11月より現職、米国及び多国間国際関係担当。



## 7/25(土)登壇者紹介

## ⑤12:00-12:15 JAXA男女共同参画推進室長 杉田 尚子(すぎた なおこ)

## ⑥12:15-12:40 理工系男性教職員による対談

## ★ジオスペース探査衛星プロジェクトチーム サブマネージャ 中村 揚介(なかむら ようすけ)

2001年NASDA特別研究員、2004年経験者採用。マイクロサブサット、東大阪衛星、小型実証衛星1型、4型の開発・プロジェクトマネージャ等を経て、現在ジオスペース探査衛星プロジェクトサブマネージャ。



## ★ISAS学際科学研究系助教 矢野 創(やの はじめ)

1999年ISAS着任。SFU、Leonid MAC、のぞみ、はやぶさ、IKAROS、はやぶさ2、たんぽぽ、ベピコロポの機器開発・運用・データ解析等に従事し、宇宙塵や小天体を通じた太陽系科学、アストロバイオロジーを研究。2008年に教育職男性初の育児休業を取得。



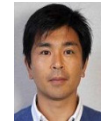
## ★はやぶさ2プロジェクトマネージャ 津田 雄一(つだ ゆういち)

専門は、宇宙探査機のシステム設計と軌道設計。「M-Vロケット」の開発や、小惑星探査機「はやぶさ」の運用に携わった。またソーラーセイル宇宙船「IKAROS」のサブチームリーダーとして、世界初のソーラーセイル技術の実現へと導いた。現在は昨年12月に打ち上がった小惑星探査機「はやぶさ2」のプロジェクトマネージャ。



## ★ISAS太陽系科学研究系助教 三谷 烈史(みたに たけふみ)

2007年ISAS助手として採用。修士課程から宇宙研に在るが、理学の中で分野を転々としている。現在はジオスペース探査衛星の観測機器開発に専念している。



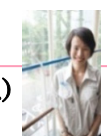
## ★ISAS SE推進室 兒子 健一郎(にご けんいちろう)

学生時代をISASで過ごす。1999年NASDA就職。きく8号姿勢制御系、柔構造衛星のダイナミクス同定と姿勢制御、静止衛星用地球センサ、姿勢系・ランデブドッキング系試験設備、地球観測衛星の姿勢制御系・打上運用、高精度静止観測衛星システムの基盤技術の開発、科学衛星のシステムズエンジニアリング・初期検討支援を行う。



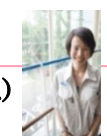
## ★ISAS宇宙機応用工学研究系助教・探査ハブ併任 大槻 真嗣(おおつき まさつぐ)

2006年11月よりISAS宇宙探査工学研究系助手(現宇宙機応用工学研究系助教)、現在に至る。探査ロボットのシステムと要素技術の研究開発、月着陸探査や火星探査計画の立ち上げに取り組んでいる。イイヤヤ期と交戦中。



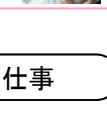
## ⑦12:50-13:15 ISAS電子部品・デバイス・電源グループ 宮澤 優(みやざわ ゆう)

修士課程修了後、2012年JAXA就職。科学衛星の電源系機器開発、観測ロケットに携わる。



## ⑧13:25-13:50 ISAS航法・誘導・制御グループ SE推進室 研究開発部門 第一研究ユニット 廣瀬 史子(ひろせ ちかこ)

修士課程修了後、2004年JAXA就職。スペースデブリの観測・衝突解析等を行い、現在金星探査機「あかつき」の軌道計画に携わる。



問い合わせ先: JAXA男女共同参画推進室(KYODO-DANJO-JIMUKYOKU@jaxa.jp)

(1-8) 理工系職員が語る私の仕事